



平成 21 年 1 月 10 日

各 位

会社名 株式会社コーエー
代表者名 代表取締役執行役員会長CEO 伊従 勝
(コード番号 9654 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員管理本部長CFO 浅野 健二郎
(TEL 045-562-8111)

平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損 並びに投資有価証券含み損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期末において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

また、保有有価証券のうち、時価を合理的に算定できるものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期末における投資有価証券含み損を算出したしました結果、その総額が 3 のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額（速報値）

	連結	個別
(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額（速報値）	6,309 百万円	5,926 百万円
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	58,055 百万円 (10.9%)	54,335 百万円 (10.9%)
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	10,274 百万円 (61.4%)	9,288 百万円 (63.8%)
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	5,256 百万円 (120.0%)	4,715 百万円 (125.7%)

- (注) 1. 当社の第 3 四半期末は、12 月 31 日であります。
2. 上記(A)の金額は速報値であり、実際の金額は、今後の集計によって速報値と異なる結果となる可能性があります。
3. なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しているため、平成 21 年 3 月期の期末日の時価により、特別損失の額が変動する場合、もしくは特別損失を計上しない場合があります。
4. 今期より経常的に発生する投資有価証券評価損については原則として営業外費用として計上することとしており、平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）において営業外費用に計上した投資有価証券評価損は、連結 886 百万円、個別 757 百万円であります。しかしながら、世界的金融の混乱による投資有価証券の下落は当社におきましても臨時かつ巨額に発生することとなったため、特別損失として計上することといたしました。

2. 今後の見通し

この特別損失を含めた平成 21 年 3 月期の業績予想につきましては、現在精査中であり、見通しが明らかになり次第、改めてお知らせいたします。

3. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券含み損の総額（速報値）

	連結	個別
(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券含み損の総額（速報値）	8,397 百万円	7,343 百万円
(B) 平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/B×100)	10,274 百万円 (81.7%)	9,288 百万円 (79.1%)
(C) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/C×100)	5,256 百万円 (159.7%)	4,715 百万円 (155.8%)

(注) 1. 当社の第 3 四半期末は、12 月 31 日であります。

2. 上記(A)の金額は速報値であり、実際の金額は、今後の集計によって速報値と異なる結果となる可能性があります。

3. 対象投資有価証券の帳簿価額 27,103 百万円(連結) 23,883 百万円(個別)
時 価 18,706 百万円(連結) 16,539 百万円(個別)

以 上